



5月ベルだより



2024年(令和6年)5月31日
福山市立西幼稚園

コミュニケーション手段はいろいろ

聞えにくい人や聞こえない人とのコミュニケーションの方法は、
いろいろなものがあります。

- ①口 話・・・声を出しての会話です。相手の口の動きをみることで話の内容がより伝わりやすくなることもあります。
- ②手 話・・・手の形と動き、からだの動きで表現します。
- ③指文字・・・あ～んまでの指文字が50音あります。
- ④筆 談・・・紙に書いてやりとりします。
- ⑤空 書・・・空間に指で文字を書いてやりとりします。
- ⑥身振り・・・からだの動きで表現します。(ジェスチャー)

★ 聴覚障がいの子どもたちは、さまざまなコミュニケーション手段を使ってコミュニケーションの楽しさを感じていきます。西幼稚園では、生活の中で手話や指文字を活用しています。ともにすごすなかで、健聴児も自然と手話や指文字を理解したり使ったりする姿があります。

お互いのことがわかりあうことで、コミュニケーションも楽しくなっています。

手話コーナー

今月の手話コーナーでは指文字を紹介します。
別プリントで印刷していますので、
おうちに貼ったり、子どもと一緒に見たり活用してみてくださいね。

自分の名前の指文字は
どんな形かな??



幼稚園でどんなことをしてたのか気になって聞いても、なかなか話してくれない...
こんなことってありませんか?

育てたい! 子どものコミュニケーション力

話す力を育てるには?

《話したいことがある、話したい人がいる環境づくり》
子どもが「話したい」という気持ちになることが大切。
毎日が「話したい」と思える楽しい体験にあふれ
「この人に話したい」と思える大好きな人がたくさんいる。
そんな環境が子どもの話す力を育みます。

《話をせかささない、先回りして話さない》

子どもの語彙力や会話では、まだ自分の思いをスラスラとことばで表現することは難しいです。「〇〇したいのね」「〇〇だったんでしょ?」などと大人が先回りしてばかりでは、子ども自身の話す力にはつながりにくいのです。

《聞き上手になりましょう》

話を聞いてくれる相手、話を受けとめて共感してくれる相手がいると子どもはもっと話したいと思います。
子どもの話にじっくり耳を傾け、その話を興味深く聞くことが大切です。

ワクワクするような楽しさがあると、子どもは人との
かかわりを求めるようになります。積極的な人とのか
かわりのなかで、子どもは気持ちを伝えられた経験も
そうでない経験もたくさんやりとりしながら、
コミュニケーション力を身につけていきます。
～幼稚園のことで気になることがあれば
いつでも聞いてくださいね